



WEEKLY REPORT

2008-2009 No.11 2008年9月18日

会長◆鈴木安之 会長エレクト◆臼井 浩 副会長◆矢部房男 村田典昭
幹事◆三宅 謙 SAA◆桐田吉彦 会計◆市川 浩 ◇広報委員長:石田 隆
E-mail:zushirc@sage.ocn.ne.jp Website:http://www.zushi-rc.com/
例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~
例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL:046-870-6651
事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX:046-873-0226

本日の進行(12:30)

松尾 明美様

「オーストリア日本交流年 2009」
一回のお知らせー

9月27日(土)(18:00)

会員親睦旅行(同伴)
(軽井沢プリンスホテル)

《 第 2269 回 例会記録 2008年9月11日 》

出席報告	会員数 41 名(出席免除 6 名)	出席数 19 名	出席率 51.42%	前回修正出席率 65.71%
ゲスト	孫 超様 (米山奨学生)、小島皓史地区米山学友委員長			

■ 会長 談 話 鈴木 安之 会長

9月27日は京都紫野 RC の親睦旅行に逗子クラブも合流して、軽井沢プリンスホテルで例会をおこなうことになり、25日の例会が27日に変わります。28日はゴルフに参加します。ご承知下さい。

このところ世の中の変化はおびただしいものがあります。気候は夏のゲリラ降雨といい、真夏の暑さといい、が亜熱帯化しているように感じます。社会では不動産、銀行が良くない。物価が上り、景気が悪く給料も上がらない。昨年9月頃から今年8月まで、惨憺たる経済状況で株価も減茶苦茶、不況風が世界中を吹きまくっています。

日本の国も閉塞感にとらわれている感があり、政治家が官僚の言うまま、勉強をしないので将来のビジョンがない。教育が悪いのか、日本人が劣化しているように感じます。国の再建にはどういうリーダーが良いのか考えざるを得ません。

天変地異、食糧難、新型インフルエンザなど、大変な問題が起きてくるのが予想されますが、ロータリアンは知恵があるのでそれぞれの問題に対処していきましょうと安心はしていますが、今後を見守っていく必要があるかと思えます。

■ 報 告

幹事報告 *週報:鎌倉 RC、鎌倉北 RC、鎌倉大船 RC *2011-2011 年度ガバナーノミニー候補者提案に関する告知:2008年11月12日 12:00 までにガバナーノミニー候補として最適者を地区指名委員会に提案すること。
*鎌倉大船 RC 主催「菅原ガバナー補佐と一緒にゴルフコンペ」開催案内 11/9 小田原湯本カントリークラブ
*神奈川県立逗葉高校創立 30 周年記念式典の案内 11/1 10:00



ルイス君: 日本語少し分かるけど話すのはまだ。今日はありがとうございます。



孫超さん: 修士論文をもとに話します。難しい内容なのでよく聞いて下さい。

ロータリーの友 9月号紹介

- ・RI会長メッセージ パーミンガム国際大会に行こう
- ・特集 若い人たちの夢をかたちに 若い人のためにできること がんばる若い人たちに
- ・奇跡を生んだ学校 ルワンダの児童養護施設のコンピューター識字率が上昇した理由
- ・「決議 23-34」への熱き思い 2007-08 年度RI理事会を終えて

知的財産権の保護における中国・地方政府の役割—上海市を事例として

研究目的

- ・中国の地方政府に焦点を当て、地方行政の視点からWTOのTRIPS協定の第Ⅲ部「知的財産権の行使」(enforcement)の状況及び問題点を明らかにする。
- ・事例研究を通じて「知的財産権の行使」における地方政府の果たすべき役割を検証する。
- ・地方政府レベルでいかにしてより効果的な知的戦略を生み出せるかに関する政策提言を行う。

研究背景

中国の知的財産権制度の確立—WTO加盟 2001年のWTO加盟前及び加盟後数回にわたって国内法を改正し、国際レベルの知的財産権に関する法律を備えてきたと

言えるが、不正商品の問題が依然として深刻であり、「権利の行使」が十分でない国内外から批判されている。

国家レベルから地方レベルへ

特許権は地方知的財産権局、商標権は地方工商管理局、著作権は地方版權局にある。

上海市を事例として

上海知的財産権パークを設立して上海市知的財産権発展モデルができています。上海市の方式を全国に広げるための可能性と限界を分析してみました。

私の政策提言

権限衝突問題について、地方保護主義について、人材不足について 提言。(詳細略)

Free Talking・・篤 進

シカゴ・ロータリー・クラブの創立 (ロータリー文庫より)

第1回目の4人で始まった会合から、3月23日の第3回目の会合になると、予定の会員も集まり、役員の任命、定款の作成、クラブ名の決定といったような正式の取り決めを行った。これが世界中で最初の、シカゴ・ロータリー・クラブの創立の出来事なのである。このクラブの最初の綱領が起草されたのは1906年であるが、それには次のように記されている。第1条「会員の業務上の利益を振興すること」第2条「性質として社交クラブに伴う親睦そのほか望ましい諸点を振興すること」つまり、会員の職業上の相互扶助—後に幾つかの反省を経て、これがロータリー用語で「職業奉仕」と呼ばれるものになった—と親睦が、ロータリー・クラブのそもそもの出発点の考え方であったことがわかる。ところが会員の中に、このような綱領は単に会員の利己心の追及であり、自分たちの活動の社会的意識が欠けているのではないかと助言する者が現れ、後に第3条を追加することになった。第3条「シカゴ市の最善の利益を推進し、その市民に市に対する誇りと忠誠の精神を普及せしめること」

この初期の努力の中には、今日の世界中のロータリー・クラブの大原則や一般的慣例にまで高められたものが幾つかある。『一業一会員制』『政治・宗教上の論争並びに団体活動の禁止』『歌を合唱する』『会務に関する互譲の精神』『職業上の扶助』『テーブル・スピーチ』『会合の時間厳守』『会員名簿に写真を』『食事を共にする』…… など。

■ ニコニコBOX (35,000円)

小島地区米山学友委員長…皆様今晚は、本日は米山学友委員長として中国からの奨学生孫超さんに同行してまいりました。よろしく申し上げます。
鈴木(安)君…どうやら新会員3名入会しそうです。今日勧誘に行ってきました。岩瀬会員増強委員長ご苦労さま。
矢部(房)君…孫様をお迎えして。日中友好を願います。
三宅君…妻の誕生祝いを頂きありがとうございます。
矢部(光)君、湊屋君、横瀬君…孫超さん、ようこそ!
臼井君、山本(由)君…孫さん卓話よろしく申し上げます。
渡邊君…ルイス君 WELCOME

船津君…遠いブラジルからようこそ。
篤 君…30年ぶりにロータリーの勉強をしています。
山口君…朝夕大分涼しくなってきました。
鈴木(久)君…涼しくなりました。お久しぶりです。
桐ヶ谷君…彼岸近し、暑さ寒さも彼岸まで。
村田君…秋が来てるね。
坂井君…今夜は見事な夕焼けです。
桐田君…夜空に吸い込まれそうです。
ニコニコBOX本日合計 ￥ 35,000
累計 ￥ 469,000
ご協力ありがとうございました。

コラム

《ロータリー理論研究会「千種会」とは》

昭和40年代、東京で小堀憲助先生と青森三沢クラブの黒田政文という歯科医さんのお二人が相談いたしました。全国で50名のR-列ヲを集め、R-列の理論を体系的に研究しようというのが千種会(ちくさかい)のはじまりなのです。そこで偉大な先輩R-列ヲ達が開発した人類文化史上、稀に見る立派な思想を後輩R-列ヲに正しく継承しようと当時、全国に1000のクラブがありましたので、千の種を蒔くということで小堀先生が名づけ親になって千種会と名付けられました。このロータリー理論研究会の英文名は、経営哲学者アーサー・フレデリック・シエルドンにちなんで「Japn Sheldon Society」と決まっております。 編集委員 篤 進